

昭和42年7月9日豪雨による「水防実施報告書」抜粋

水防団長からの報告

7月9日 豪雨により 安威川、芥川、桧尾川、水無瀬川は急激に増水
関係分団に出動を命ずる

特に安威川は見曾有の洪水となり一部堤防で溢水を生じる

加えて同河川に仮設されている善願寺橋、あけぼの橋、山科橋、永久橋 等ほとんどが
流出した

これらの流木が下流の宮島橋で詰まり、鳥飼八丁地先安威川左岸堤防約55mに渡って
破堤する

芥川水防分団長からの報告（芥川）

9日午後8時30分防衛区域の警戒監視をする

上流の亀岡方面からの降雨量が158mmと多く、量水標の目盛りも濁流に消える

午後9時から随時団員増員

量水標が倒壊し6尺杭を打ち込み仮設の量水標の変わりにする

10日鷺打橋上流約300m堤防裏法先がウミ出し杭打ち積み土のう工を施工

使用資材 6尺杭 20本、土のう 400袋

玉島第一水防分団長からの報告（安威川）

9日午後6時防衛区域の警戒監視をする

7時水位は4mとなり水防団員全員に出動をかける

午後10時には最高水位6mを越す

10日午前6時には3m60cmとなり解散

その間青英橋付近左右岸で積み土のう工を実施する

玉島第二水防分団長からの報告（安威川）

9日午後7時ごろ班長以上で警戒中のところ増水が激しく、全員に出動をかける

三班体制で漏水箇所には積み土のう工を実施

使用資材 宮島橋倉庫 土のう 40袋、野々宮倉庫 土のう 30袋、

二軒家倉庫 土のう 100袋

鳥飼第一水防分団長からの報告（安威川、淀川）

9日午後10時30分安威川増水のため応援隊として全員出動

宮島橋上流300m地点で決壊 防御

淀川本川五久樋工事箇所 土砂の流出のため 防御

鳥飼第二水防分団長からの報告(安威川)

9日午後6時から警戒監視

午後8時30分 4mに増水のため、水防団員40名に増員

午後9時40分 上流からの流木等に宮烏橋欄干までのしかかり安威川をせき止める状態になり、左岸で溢水しはじめる 積み土のう工実施午後10時30分ごろ左岸堤防決壊、番田水路に流れ、鳥飼八町裏堤防が危険な状態になるまた、安康樋が番田水路の逆流で新幹線基地に浸水し、府道仁和寺茨木線が川状になる
水防団員一同 安康樋の逆流を止める作業をする

鳥飼第三水防分団長からの報告(安威川)

9日午後9時30分安威川増水のため応援隊として全員出動

淀川 河原樋付近にて工事中のため3分の1を残す

建設省及び請負業者のシートを借り受け張り布工を実施

味生水防分団長からの報告

9日午後9時ごろ 全団員出動

安威川鶴野「トセキ」付近にて飽水状態であった

また新在家付近に大水が押しよせ、危険な状態のため積み土のう工を実施

概要(おもなもの)

種別	河川	出動人員	水防実施概要			
			場所	損傷名	実施工法	使用資器材
集中豪雨	淀川	75名	摂津市鳥飼中	工事箇所先掘	積み土のう	土のう 260袋
	水無瀬川	47名	防御区域警戒			
	桧尾川	25名	防御区域警戒			
	芥川	71名	鷺打橋上流	法要崩れ	鷺打橋積み土のう	土のう 400袋
	安威川	501名 陸上自衛隊170名応援	茨木市馬場 目垣 摂津市鳥飼八丁 新在家	溢水 逆流 決壊	積み土のう	土のう 1,446袋 錠 42枚
	神崎川	60名	東淀川区北江口	溢水 逆流	逆流防止	土のう 45袋 杭 6本

※土のう は 当時葦の俵であった